



ふられるなんて
いつもの事なのに…

なんでそんな
落ち込むかなあ



やかましいわ!
お願いだから
どっか行ってくれ!

お前の所為で
俺の人生灰色だツ

知らんよ
そんなの



RとWの冒険 小さな冒険

すみません...
この道は...
お前が横に居る
だけで俺はバツイチ
だのロリコンだの言わ
れるんだぞおおお?



はあ?

ラビィ...お前は
俺がかわいそう
だと思わないの?

私はラビィ この
横で泣いている男
ワルターと2人で
旅をしています



ワルターが私の
保護者なんだから
嫁に行くまでは面倒
見てもらわんとね

私たちの故郷の村は辺境のト田舎親を亡くした私を育ててくれたのが従兄弟のワルター

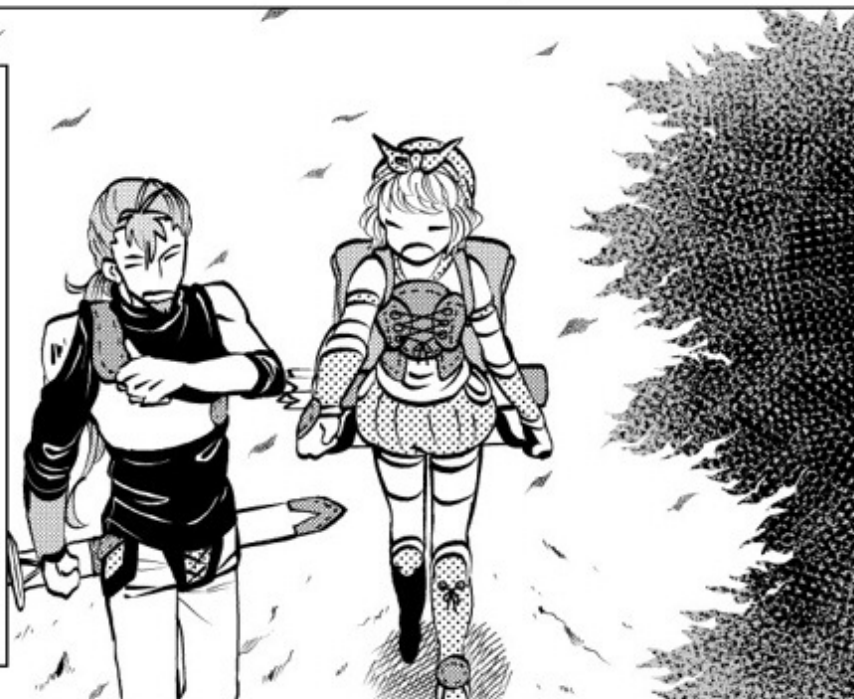


青春時代を子育てに費やした彼は彼女を作る時間も持てず売れ残っちゃいました

そして 斯く言う私も年の近い男の子がいなかったこともあって村全体が
《どうせなら売れ残り同志で結婚すればいいじゃない?》
的な空気になっちゃいました…



その気がまるで無かった私たちはその空気に耐え切れず村から逃げるように旅立った訳です
今は冒険者の真似事をして旅費を稼ぎつつそれぞれの相手を探して絶賛婚活中…と言ったところですよ





ワルターには悪いけど
女の子一人で旅できるほど
世の中甘くないしさあ…
しばらくは現状維持する
しかないじゃん？



思ってるだけだろ

悪いとは
思ってるよ…



まあまあ嫌な事は
飲んで忘れちゃえ！

お前が原因で
凹んでんに
軽く流して
うやむやに
しようとするなッ



私だって素敵な相手
を見つけたら
すぐにでもさよなら
してあげるよお…



彼女の護衛が今の私たちの
お仕事なんです…が



良かったらこの酔っ払い
部屋まで運んでくれると
ありがたいんですが

なう

なんで
雇い主の
私が世話
なんかッ

そうですねかあ
…まあ酔っ払い
なんてこのまま
放置で良いかなあ



し仕方ないですわね…
お店に迷惑かけわけには

はっ

ワルツさんとは出会ってから
一ヶ月程になります…
どうやら彼女はワルツターの
ことが気になるみたいです





ワルターに教えても良いけど…カップルが成立しちやったら今以上に自分の立ち位置に困る状況になりそうなのでこちらもしばらくは現状維持で…
…ていうか私より先に幸せになるのも面白くないしッ

肝心のワルターが鈍い所為で私がワルツさんにチクチクとお小言攻撃を受ける日々です…あんな髭のどろがそんなに良かったのかは未だに謎だ…





使い魔って言うても
常にベツタリしてる
訳じゃないんだ

よくひとりで…じゃ
なくて一匹で飛び回
ってるの見るし…
器用に皮剥いてるな



お腹空いてるの？
あつエビ食べる？



もしかして…
ふたりに気を使った？
使い魔も大変だねえ



ラムちゃんって不思議
な生き物だよねえ
ぱつと見た感じは豚っ
ぽいけど肌は紫色だし

羽生えてるしコウモリ
…いや…コウモリは角
無い…よね？ん…



私たちが探してる例の
アイテムですが
先日盗賊が持ち去った
品の中にある可能性が
あります

この情報が本当なら
これはチャンスです

わあ〜…い
嫌な予感
しかししない



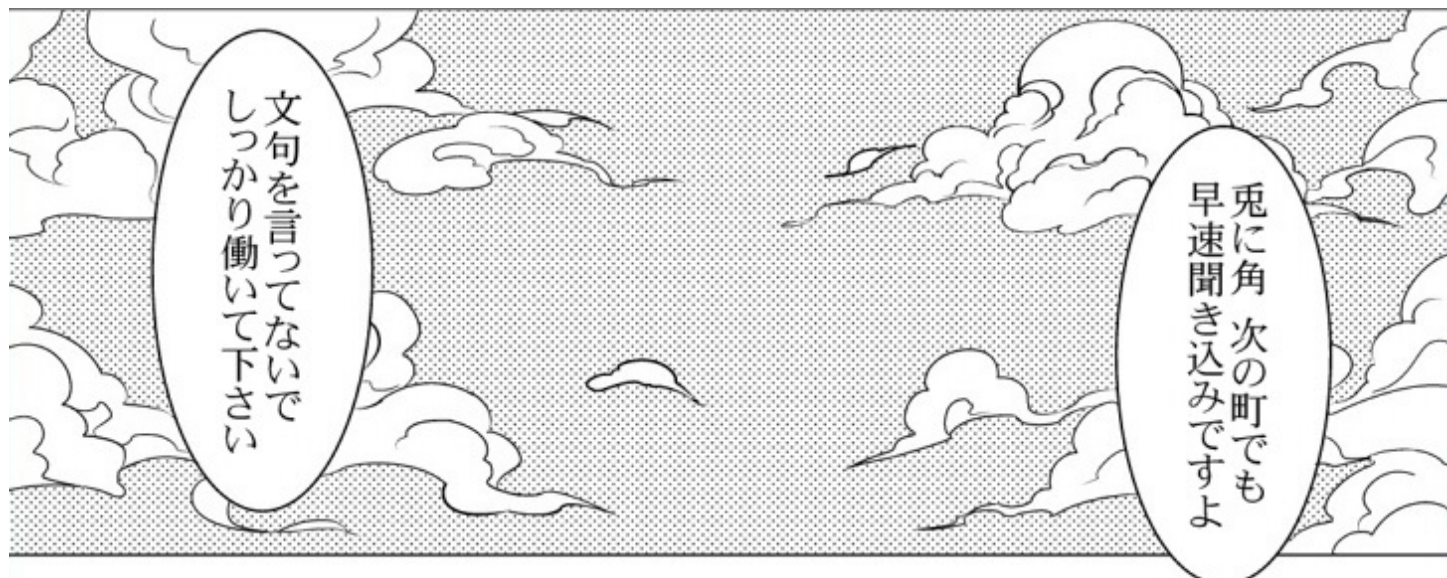
次難されたのに
チャンスって…

その賊から奪えば
話は早いですわ

「レアアイテム」を正攻法
で手に入れようとすると
一筋縄ではいきませんが

いやいやいやツ
駄目でしょそれ

お嬢さん意外と
えげつないな…



文句を言っていないで
しっかり働いて下さい

兎に角 次の町でも
早速聞き込みですよ



宿も取れましたし
どこから聞き込み
始めましょうか

そうですねえ
とりあえず人が
多そうな場所へ



あつ じゃあ俺は
足先に情報集めに
行ってくるから



へえ〜！
結構大きな町ですねえ



花街に行く気でしょ〜

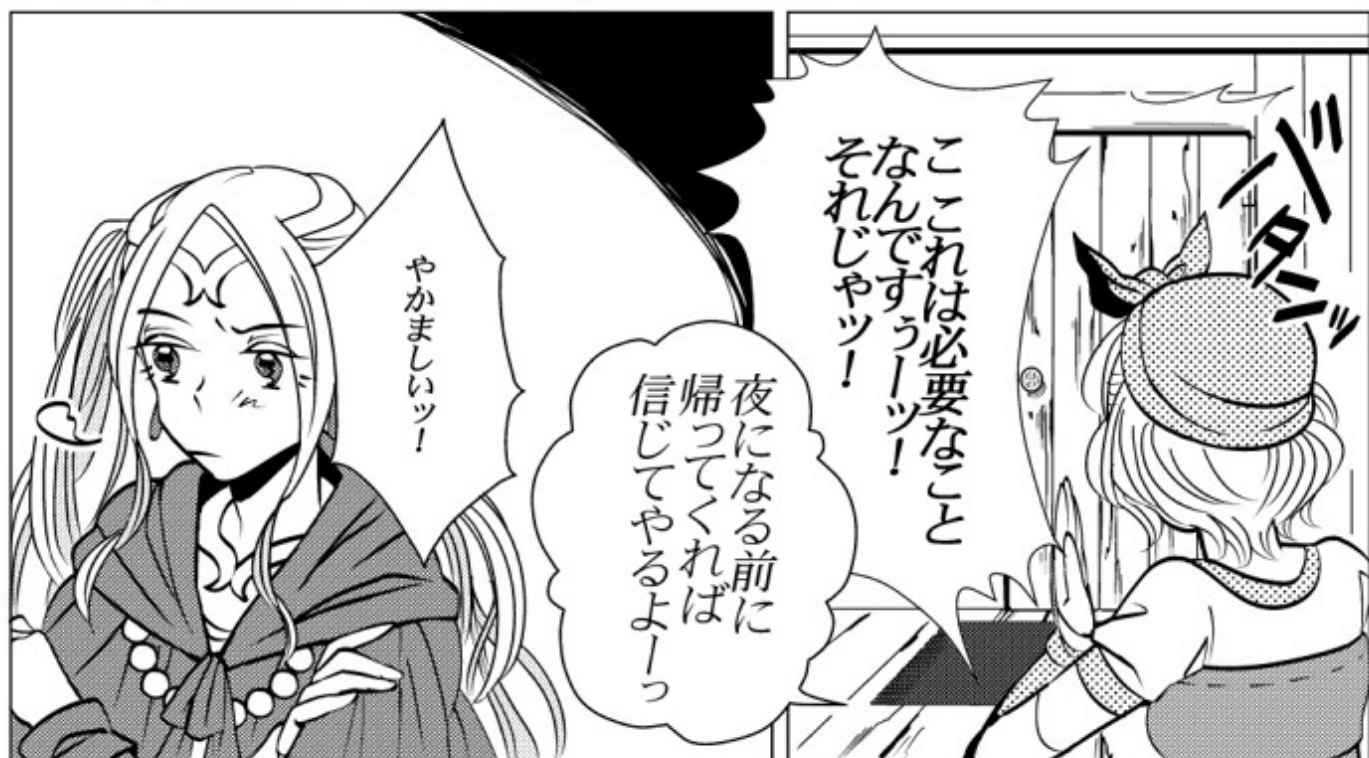
!?

最低です
わねッ!

お嬢さんまで

い 嫌だなあ〜情報や
悪党が集まる場所と
言ったら定番だろお〜

女子供には行か
せられないから
俺が代わりにい



やかましいッ!

ここには必要なこと
なんですうーッ!
それじゃッ!

夜になる前に
帰つてくれば
信じてやるよーッ



ふえく

入口付近は
ごちやごちや
してまふねえ



商会の荷馬車が殆ど
みたいですね…
もしかしたら盗賊も
商人に変装しているかも



…それにしても
良かったんですの？



はい？
なにがです？

ワルターさんのことです！
あんな野放しにした状態で
良いんですの？

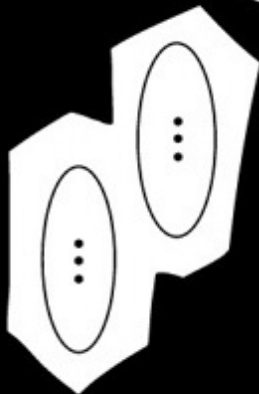
この間の事と言い 女性の周りを
あつちにしてあげたいから...
あなたは心配になりませんか？

心配つて...もう良い
年した大人ですし
前にも言いましたが
私にとって彼はほぼ
父親でして...

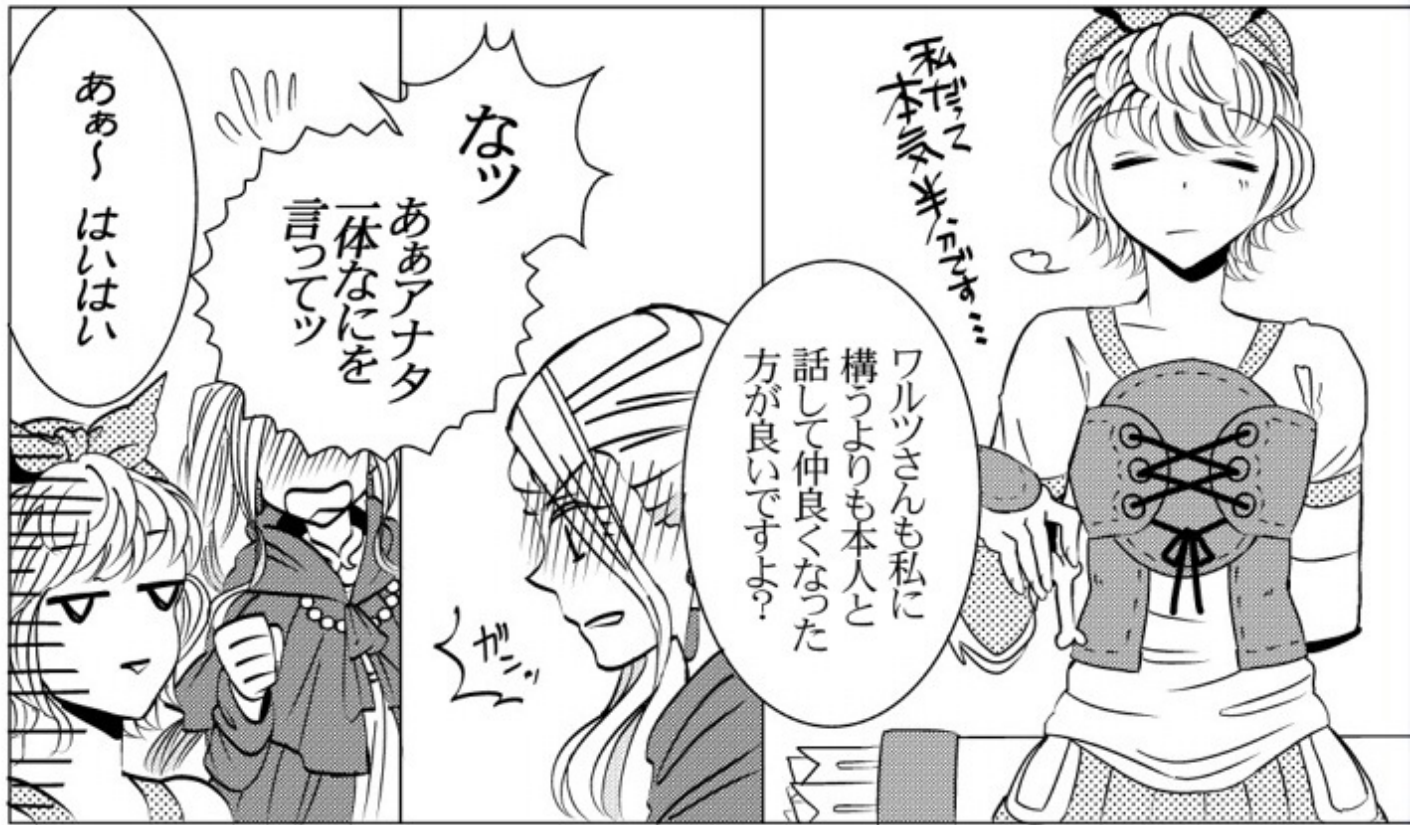
くっロではなんとでも
言えますでしようッ

私としては私の恥ずか
しい歴史全てを知つて
人と恋愛すると言う方
が無理があります

村のみんなと
言いなんなん
だろうね...









まあ

本人はそう
言ってますが

清楚で育ちの良さ
そんなお嬢様とか

如何にも不釣り合いな
高嶺の花つて感じの人も
好きになっちゃいますし
アテにはなりませんね

わかり
やすい

大人しくないし頭が良い分
たまに人を見下した感じは
するけど悪い人じゃないし

ワルツさんから少し
アプローチすれば
ワルターもコロツと
いくんじゃないかなあ

…私も
ラブが欲しい

あゝあゝなんか
さみしいなあゝ！

ラムちゃん
暖めて〜

その子他人に触ら
れるの苦手だから…

あゝもふもふで
癒されるなあゝ！

モッ

…盗賊探しは？…



数日前から
この町でも何件か
盗難事件があつた
ようですね

夜



私たちが追っている
盗賊の仕業かも
まだこの町にいる
可能性もあります

町の出入口
はたしか…

2カ所

二手に分かれて門の
付近を見張りましょう
それらしい輩が現れる
かもしれないわ



あ私

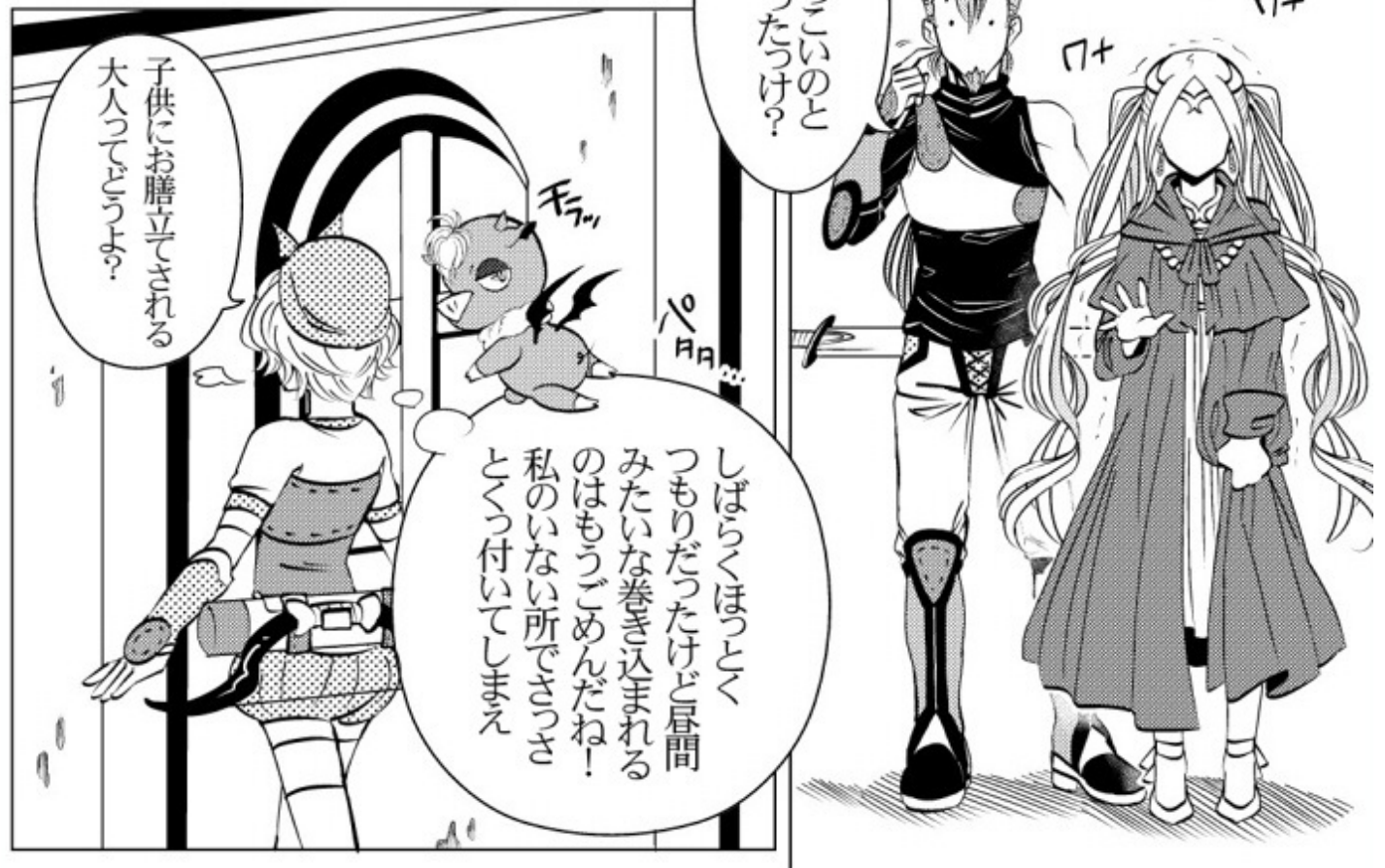
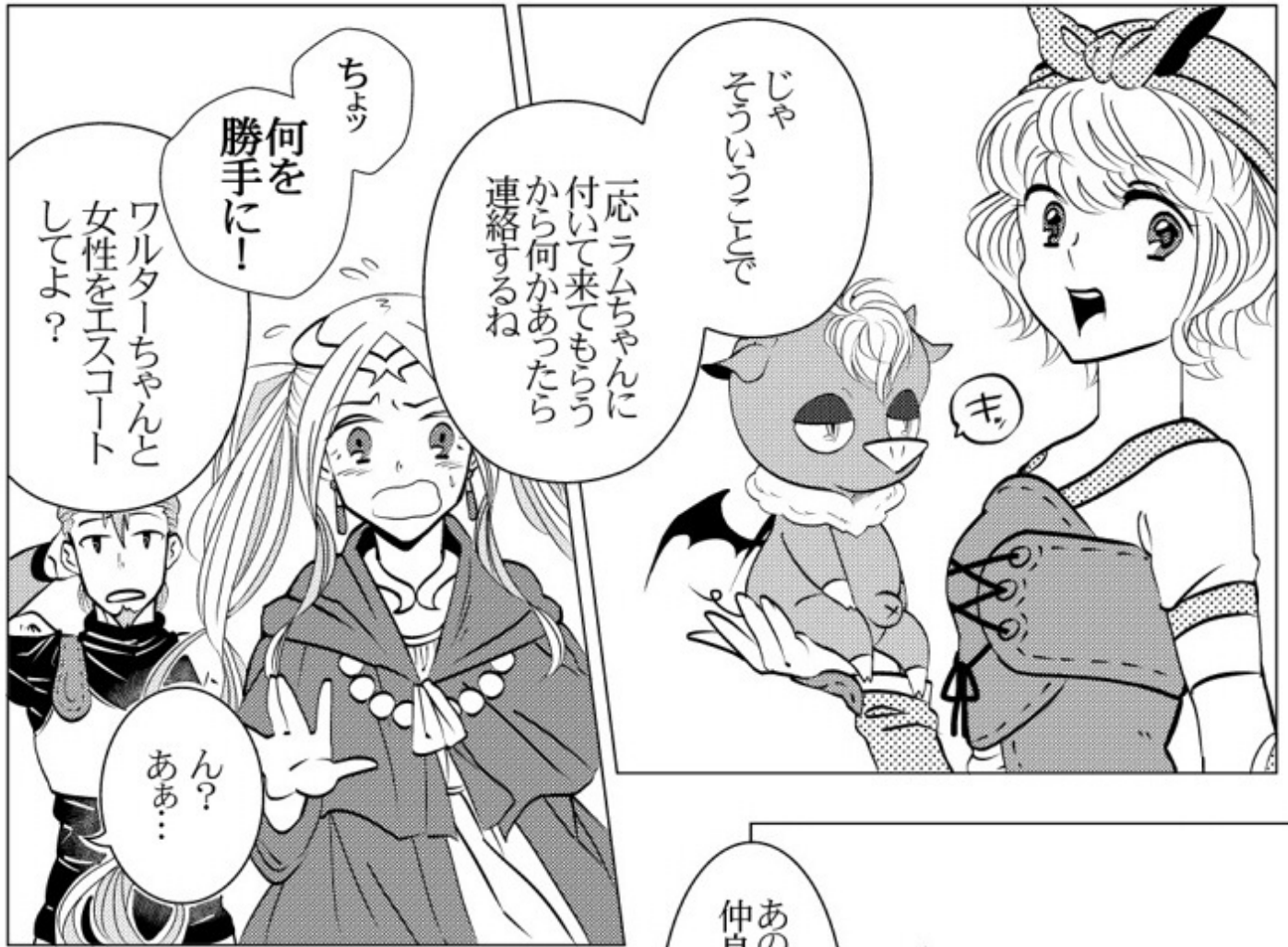
お腹空いたから
出店寄つた後
門に向かうよ
二人は先に行つて

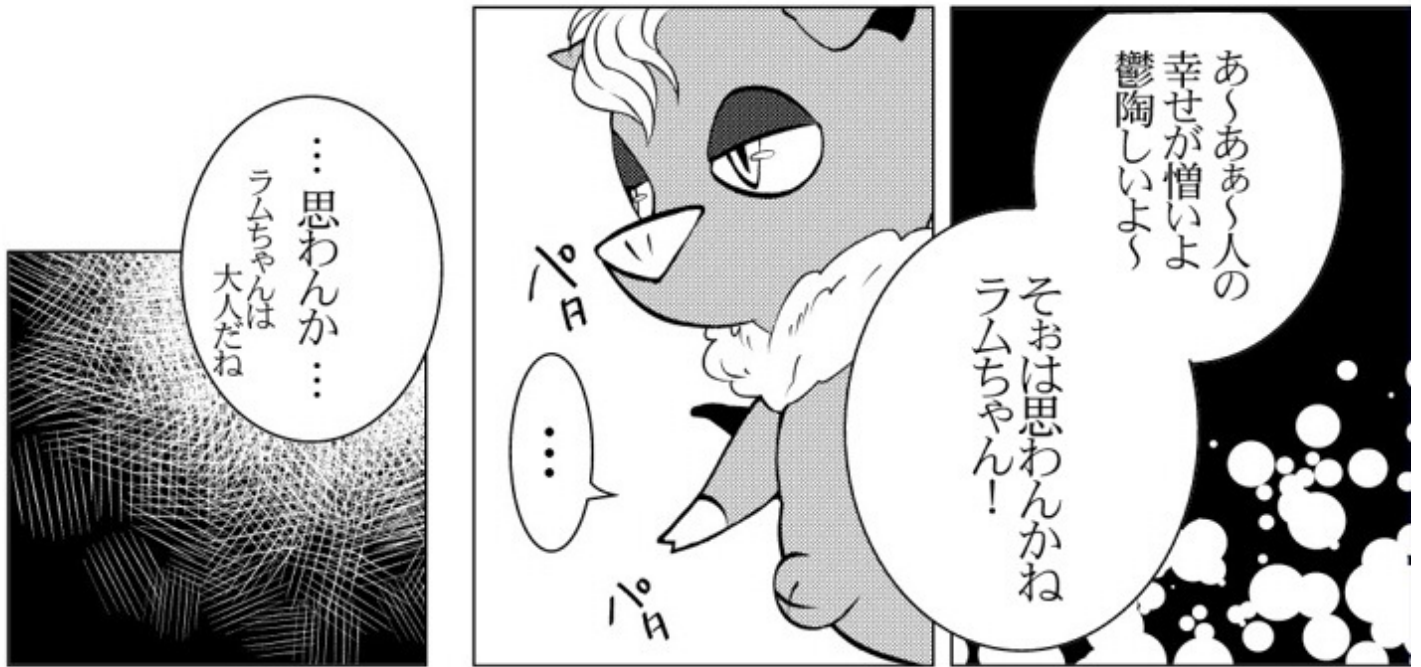
あ？

は？

おっ
おっ

キ





それにしても
ラムちゃんって
頭が良いよね
使い魔ってそう
いうモノなのかな

言葉通じてるし
文字も読めるみたいだし

フム

今更だけどさあ
聞き込みと足だけで
盗賊を探すって
かなり無謀だよねえ

魔法とか使って
もつと効率の良い
探し方無いかなあ
：まあ無いから使わ
ないんだろうけど

セキ



セキ

他には…
盗賊が食い付きそう
な餌で釣るとかね

でもそんな高価な物
持ち合わせて無いし…

うーん…

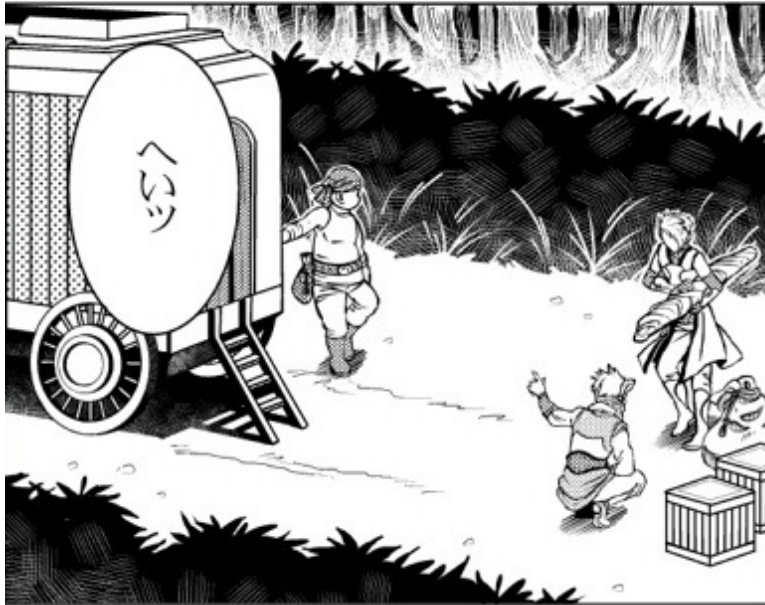
…て

あれ

…
ラムちゃん？







…よし

これ以上町の奴らが騒ぎ出す前にずらかるぞ



ぬい

カサッ

アッ

町の警備はなにしているんですの？

堂々と逃げ支度しやがつて逆に怪しまれないってか？

本当にすぐ見つかっちゃったよ



え

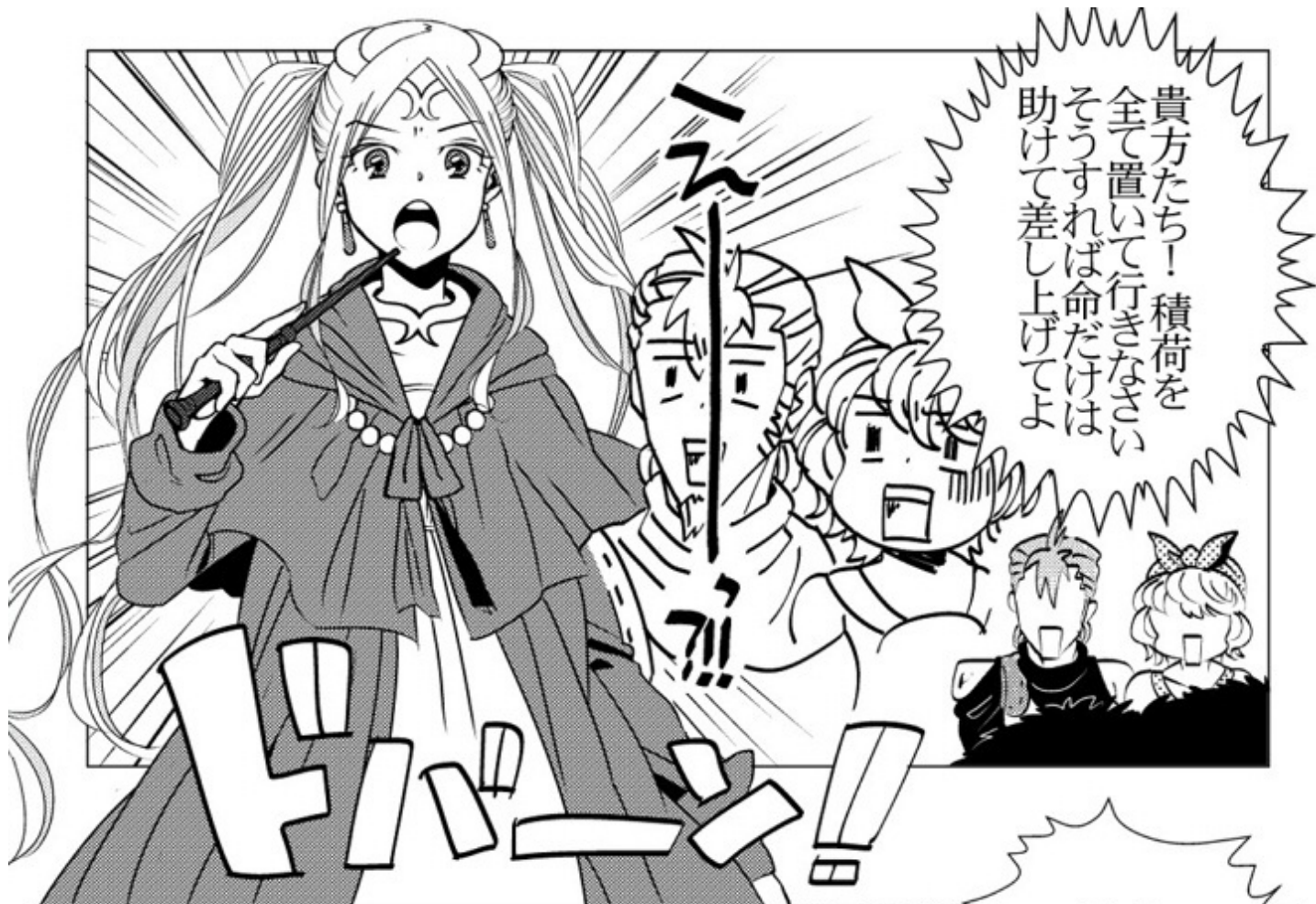
あの人数でしたら問題ありませんわ行きますわよ



カサッ

で？

どうします？なにします？やっぱ不意打ち



貴方たち！積荷を
全て置いて行きなさい
そうすれば命だけは
助けて差し上げてよ



ななんだ
この女ッ？

頭おかしいん
じゃねえのか？

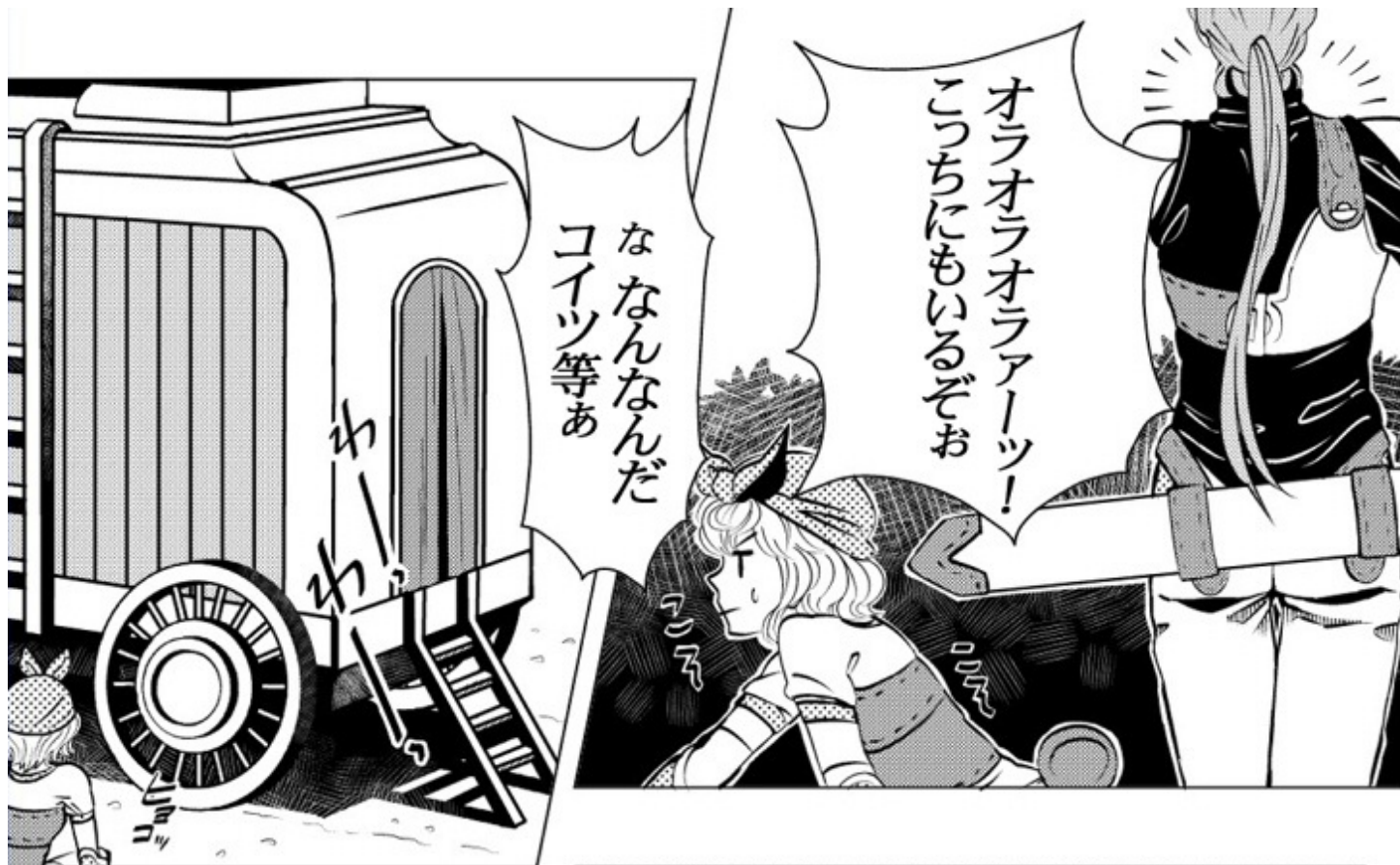


盗賊相手に
真正面から
カツアゲを

まあ相手は3人
だしなんとかなる
かなあ

お前は裏から
こっそり言つて
ちびっこ探して来い

りよ了解で
ありますッ



あわわッ
ごめん
今出すから



消し炭にされたく
なければ大人しく
なさって?!

クソッ
やりやがったなッ

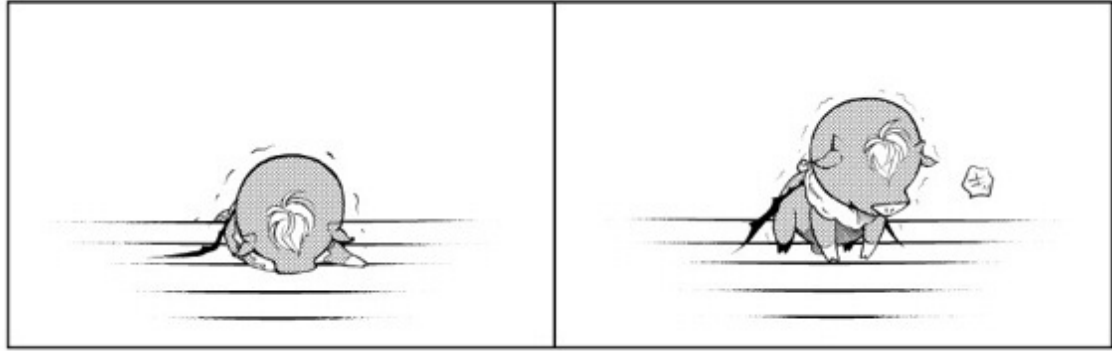
悪いけど

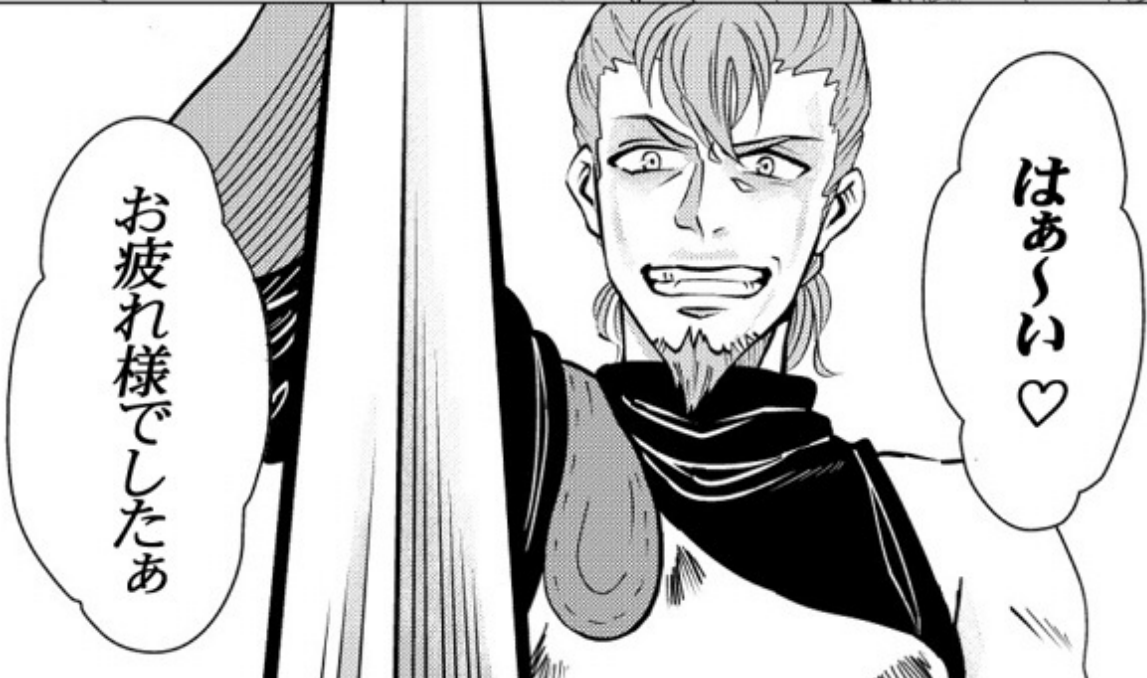
田舎の猪の
方が余っ程
速いつて話…





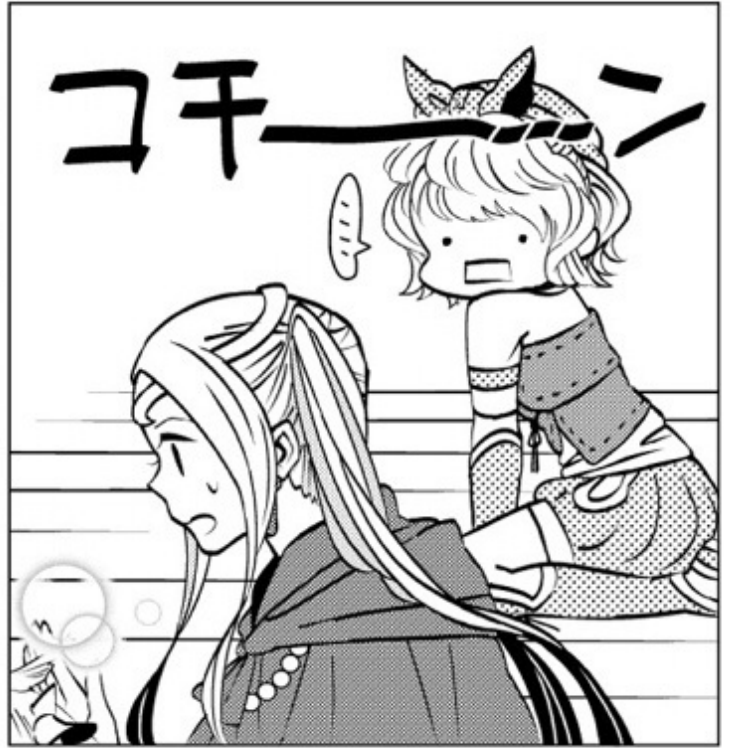


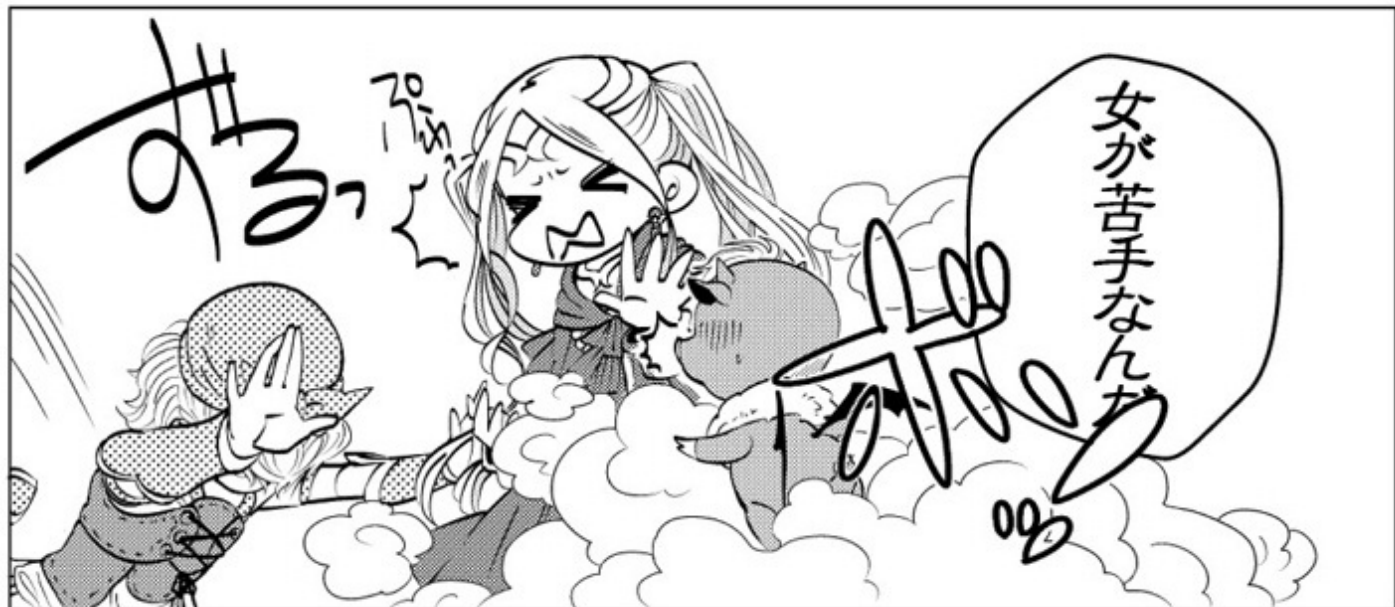












今一瞬元の姿に戻りましたけど…駄目そうですわ
まだあの病気は治ってない
みたいですね

…てかなんで
今戻ったん？
病気って？

魔女曰くこの子の
『女性不信が治れば
呪いも解ける』そうです
この子 顔が良かった分
トラブルに巻き込まれ
やすい所謂 女難体質で

ほん

ラビに一瞬だけ
絆されたとあつ
例のアイテムは

さつき探してみまし
たけど…別の盗賊
だったみたいですわ

もおーッ
今回のとこ本部
徒勞だったわけ？

なんなの
モ

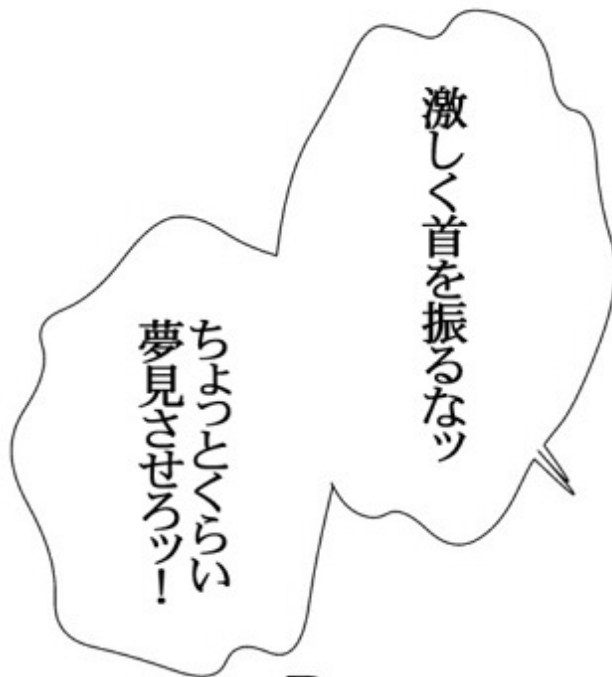






まっ

ココまで来たら
ハッピーエンド
は掴んだも同然
でしょっ!



激しく首を振るなッ

ちよつとくら
い
夢見させろッ!

END



アゲアゲ

RとWの小さな冒険

<http://p.booklog.jp/book/79866>

あとがき：http://randomwalk.yangotonaki.com/mangaseisakudp_m_noz_atogaki.html

著者：Random Walk

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/random-walk/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/79866>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/79866>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ